



誰もが住んでみたい村に

農業農村整備

# みどり 水土里ネットおきなわ

## 発行所

沖縄県土地改良事業団体連合会

南風原町字本部453番地3

(土地改良会館内)

TEL(098)888-4511

発行人 知念 武

印刷 サン印刷

<http://www.dokairen-okinawa.jp>



←糸満市北名城地区

この時期、県内各地で彼岸に向けた電照菊栽培が盛んに行われている

糸満市米須地区→



闇に浮かぶ様はイルミネーションのようだ。地元では「菊ミネーション」と呼ぶ人も。

←糸満市名城地区

## CONTENTS

- 頌春.....1
- 新年のごあいさつ(水土里ネットおきなわ会長)・・2
- 新年のご挨拶(沖縄総合事務局長).....3
- 年頭のごあいさつ(沖縄県知事).....4
- 新年に当たって(全国水土里ネット会長).....5

- 平成25年度第2回理事会開催.....6
- 平成25年度地域政策に関する関係者会議開催.....6
- 「おきなわ農業農村整備の集い」開催.....7
- イベント情報.....8



## 新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

会員及び農業農村整備事業の関係者の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素より農業農村整備事業の推進並びに本会の運営につきましては格別なるご理解、ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は本県におきましても、台風や干ばつ等、自然災害の多く発生した一年でありました。更に、離島県であるという地理的制約、市場の遠隔性に加え、地域間競争の激化等、沖縄県の農業を取りまく環境は、ますます厳しさを増しています。

このような中、昨年11月に初開催となりました「おきなわ農業農村整備の集い」において、農業農村整備事業の重要性を広くアピールできましたことは大変意義深いものであったと思います。

さて、政府は、「農地中間管理機構」の創設や、米の生産調整の廃止に伴う「日本型直接支払制度」の導入決定等農政の舵を大きく切りました。

本会も、沖縄県と連携しながら国の施策に呼应し円滑な実施が行えるよう努力する所存であります。

幸い、当会の「水土里情報システム」が本格稼働しつつあり、利用機関から好評を博しているところでありますが、本システムの更なる充実を図ることで、国や県の施策に大きく寄与できるものと考えております。

上記を踏まえ、本会は、会員の皆様の声を聴き、連携し、昨年以上に切磋琢磨し、本県の農業農村整備事業推進のため、より高度で洗練された技術集団となるよう積極的に取り組んで参りますので、関係機関の皆様におかれましては、なお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様をはじめ関係各位のご健勝とますますのご活躍を祈念致しまして、新年の挨拶と致します。

沖縄県土地改良事業団体連合会  
会 長 古 謝 景 春



## 新年のご挨拶



平成26年の新春を迎えるに当たり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

水土里ネットおきなわの会員及び役職員の皆様方には、日頃から農業農村整備事業の推進に御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

県内の国営土地改良事業につきましては、「伊江地区」及び「宮古伊良部地区」はそれぞれ着工から10年及び5年を迎えることができました。さらに本年は、石垣島において国営石垣島地区に着手する予定としており、これもひとえに、関係者各位の御理解、御協力のたまものであり、心から感謝申し上げます。

また、旧年は度重なる台風の被害や例年にない干ばつに見舞われたにもかかわらず、関係各位におかれましては、適切な農業用水利用の管理やほ場へのかん水などに御尽力されましたこと、心から敬意を表します。

さて、昨年12月に、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」を創り上げるためのグランドデザインとなる「農林水産業・地域の活力創造プラン」が取りまとめられました。本プランにおいては、農地中間機構の創設を始めとする生産現場の強化や需要と供給をつなぐバリューチェーンの構築、需要フロンティアの拡大、農山漁村が持つ多面的機能の維持・発揮を柱に、農林水産業の成長産業化を我が国全体の成長に結び付けるとともに、美しく伝統ある農山漁村を将来にわたって継承していくことを目指しており、本年はプランを本格的に展開していく重要な年になります。

沖縄総合事務局といたしましても、本プランの具体化に向け、皆様と連携しながら、活力ある農業・農村の構築のために各種事業の活用を図ってまいりますので、引き続き皆様の活発な取組をお願いします。

結びといたしまして、沖縄の農業・農村が更なる発展・飛躍を遂げますよう期待申し上げますとともに、水土里ネットおきなわを始め、沖縄県内の農業農村整備事業に携わっておられます皆様の御健闘を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成26年1月1日

内閣府沖縄総合事務局長 河合 正保



## 年頭のあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

水土里ネットおきなわの会員並びに役職員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より沖縄県の農業農村整備事業の推進につきましてご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、沖縄県農業農村整備事業関係者の方々が一同に会する「おきなわ農業農村整備の集い」が初開催されました。当集いは、農業農村整備の重要性を再確認し、関係者の方々と親睦を深め、今後の農業・農村のさらなる発展に向けて認識を深める場として、大変意義深いものでありました。主催いただいた水土里ネットおきなわ役職員の皆さまへ深く御礼申し上げるとともに、出席された皆さまの、これまでの沖縄県の農業農村整備に対する御尽力に深く感謝申し上げます。

また、国においては、県内9地区目の国営土地改良事業として、国営石垣島地区かんがい排水事業を平成26年度からの着工に向けて取り組んでいるところでございます。現在、実施設計及び諸手続を行っている段階であります。本事業が石垣島の農業用水の安定供給と、農業生産性の一層の向上に寄与するものと期待しております。

他方で、昨年は記録的な少雨による干ばつ被害が各地で発生し、農業用水の大切さや農業農村整備によるかんがい施設整備の重要性が再認識された年であります。復帰後40年が経過し、これまでに実施されてきた事業の成果は着実に発揮されておりますが、自然環境の厳しさに加え、担い手の高齢化・減少等、依然として農業・農村を取り巻く環境は厳しいものがあります。

こうした厳しい環境を克服していくため、本年も引き続き21世紀ビジョンに示された5つの将来像の一つである「希望と活力にあふれた豊かな島」の実現という大きな目標のもと、各種施策の推進に尽力してまいりますので、皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

水土里ネットにおかれましても、農業農村整備事業の推進に果たす役割と責任は大きいものがあります。なお一層の積極的な事業展開と、会員に対する技術的な指導や援助等、農業農村整備の専門家団体としての支援体制充実を図り、本県の農業農村整備に御協力下さいますことを期待しております。

結びに、本年も水土里ネットおきなわ及び会員の皆様にとって実り多く躍進の年になり、より一層ご活躍されることを祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

平成26年1月1日

沖縄県知事 仲井眞 弘多



## 新年に当たって



平成26年の年頭に当たり、全国の農業農村整備事業の推進に御尽力いただいております皆様に、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

農業・農村は、国の大本であり、日本の豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であって初めて維持されるものであります。このため、先人達は農業・農村が健全に発展していく上で、極めて重要な役割を担う農地や農業用水などの維持、向上に向け、献身的な努力を続けてきました。

しかしながら、近年の我々を取り巻く環境を振り返りますと、平成22年度に土地改良関係予算が大幅に削減され、我々は農業・農村の将来に大きな不安を抱えることになりました。また、東日本大震災や台風等による集中豪雨は、先人達の努力の結晶を破壊し、これらの地域の農業・農村に大きな爪痕を残しました。現地では、一刻も早い復旧、復興に向け、更なる国の力強い支援を強く望んでいます。

全国の農業・農村においても、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積んでいます。全国各地で農業水利施設の老朽化も進行しており、食料生産の増大、非主食米等への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと大変危惧しております。

さらには、TPP交渉においても、昨年内合意は見送られましたものの、引き続き国益をかけた厳しい調整が行われております。

こうした内外の厳しい情勢が続いている中、昨年12月、政府は「農林水産業・地域の活力創造プラン」を決定し、農政の大きな転換方針を打ち出しました。「農地中間管理機構」を活用して10年間で全農地の8割を大規模農家に集約し、競争力を強化するとともに、「6次産業化」の推進や5千億円弱で推移している農林水産物・食品の輸出額を2020年までに一兆円に増やすことを打ち出しています。更に、生産調整を5年後をめどに廃止するのに伴い、現行の経営所得安定対策の大幅な見直しと農地・農業用施設を守る取り組みを支援する「日本型直接支払い」の創設が決定されました。

我々水土里ネット関係者としても、こうした政府の動きを重く受けとめ、国が目指す方向の実現に向け、積極的な貢献を果たしていくことが必要です。加えて、水土里ネットの役割や農業・農村を守り、発展させていくことの重要性・必要性についても、広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要です。幸いにして、農地を集積し、経営規模を拡大することにより、新たな農業経営を展開すべく、全国各地で高い志を有し、地域農業を主導する若い人たちの取り組みも見られるようになってきております。地域の農業や農業情勢が大きく変貌してゆく中、「水」「土」「里」を担う中核的な存在である水土里ネットが、長年培ってきた技術と経験を最大限活用し、新たな地域農業を切り開き、国民の財産である農業・農村を守り、発展させていくことが重要であります。そのことによって、水土里ネットと農業・農村に対する国民の皆様の幅広い共感が得られ、施策が安定的に実行されることを強く期待するところであります。

最後になりますが、本年は新しい農政への転換に向け着手する年であります。輝かしい年の出発に当たり身の引き締まる思いがいたすとともに、私も皆様方と共にこれら農政の転換に積極的に取り組んで参りますことを、ここに改めてお誓い申し上げたいと存じます。

本年が全国の皆様にとって良き年でありますように、御健勝と御発展を祈念いたしまして、私の新年の御挨拶と致します。

全国土地改良事業団体連合会  
会長 野中 広務



## 平成25年度第2回理事会開催

平成25年10月25日(金)午後2時より、当会理事10名の内7名の出席を得て、平成25年度第2回理事会が開催された。提出議案は、平成24年度事業報告、一般会計、特別会計収支決算及び財産目録の承認と個人情報保護に関する規程の制定の2議案であったが、どちらも原案通り可決決定された。



## 平成25年度地域政策に関する関係者会議開催

平成25年11月29日(金)午後1時より、沖縄総合事務局土地改良課主催による「平成25年度地域政策に関する関係者会議」が開催された。県内各地より120余名の参加者があり、講師として招かれた農村振興局設計課佐藤具揮計画調整室長が、「日本型直接支払制度」や「農地中間管理機構」等、平成26年度以降の農業農村整備に関する政府の取り組みや予算について説明を行った。

また、午後2時25分からは、場所を移して、沖縄県、当会役員及び参加いただいた市町村長と直接意見交換を行った。





## 「おきなわ農業農村整備の集い」開催

平成25年11月29日(金)に「おきなわ農業農村整備の集い」が開催された。沖縄県初開催であるが、県内各地より120名余の農業農村整備関係者が一堂に会した。

集いでは、農村振興局整備部設計課佐藤具揮計画調整室長より「国土強靱化と農業農村整備」、並びに新城治県村づくり計画課長より「沖縄21世紀ビジョンに係る農業農村整備の方向性について」と題して講演を行っていただいた。最後に「平成26年度農業農村整備事業予算の確保に関する要望書」を満場一致で採択し、盛会裡に終了した。



沖縄県の農業農村整備の推進につきましては、日頃から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の食料生産や、国民への安定した食料の供給は、農地と水を育みながら、連綿と築き上げてきた農業生産基盤整備に支えられており、とりわけ、沖縄地域は温暖な気候や豊かな自然条件を活かした多様な農業が展開され、本土より早い時期に野菜等が出荷できるなどの特性を有しています。

しかしながら、本県の農業を取り巻く環境は、国際化の進展に加え担い手の高齢化等、厳しい状況にあります。

加えて、本県の農業・農村を取り巻く環境は、台風・干ばつ等厳しい自然条件や離島性、市場遠隔性等の制約条件があることから、極めて厳しい状況にあり、地域特性をいかした豊かな農業・農村を築くため、農業及び生活基盤の整備が必要不可欠であります。

このような中、県においては、沖縄21世紀ビジョンの実現に向け新たな基本計画を策定し、農林水産業の振興を図るため、「亜熱帯性気候を生かした農林水産業の振興」基本施策とし、「亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備」や「フロンティア型農林水産業の振興」等の施策を展開しており、我々は具体化に大いに期待しています。

農業・農村は、国の大本であり、日本の豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であって初めて維持されるものであります。

つきましては、食を巡る国際情勢も踏まえつつ、このような重大な使命と期待を担う農業・農村を維持するため、下記事項が確実に実現されることを、強く要望いたします。

### 記

- 1 農業農村整備事業予算の確保
  - ☐ 地域の自主性及び自立性を高めるための沖縄振興交付金の要望額の確保
  - ☐ 農地や農業用水施設の整備をきめ細かく実施するための農業基盤整備促進事業、農業水利施設保全合理化事業の要望額の確保
- 2 農地・水保全管理支払交付金の確保
  - ☐ 共同活動支援交付金の要望額の確保
  - ☐ 向上活動支援交付金の要望額の確保
  - ☐ 農地・水保全管理支払推進交付金の増額
- 3 水土里情報の有効利用を図るための支援
  - ☐ 農業政策との連携を伴う水土里情報の有効利用を図るための支援を行うこと
- 4 土地改良施設等管理関連補助事業費の確保
  - ☐ 土地改良施設管理関連補助事業費の要望額確保
    - ・基幹水利施設管理事業
    - ・土地改良施設維持管理適正化事業
    - ・水土総合強化推進事業
  - ☐ 集落排水施設管理関連交付金の要望額確保
- 5 再生可能エネルギー導入促進に係る重点予算の確保
  - ☐ 導入に向けた調査関連事業費の要望確保



## イベント情報

### 環境保全型農業展示コーナー

- 有機農業・特別栽培農産物認証制度  
エコファーマー認定制度の紹介
- 有機農産物等の展示・パネル展示
- 赤土流出防止対策等の紹介
- GAP(農業生産工程管理)の紹介

### 6次産業化支援展示コーナー

- 6次産業化支援事業の内容や取り組み事例の紹介
- 当該事業で支援・育成された起業者の  
商品の展示・販売(約50品)

### 沖縄ふるさと百選コーナー

- 認定交付式

### 「美ら島おきなわ・花と緑の名所100選」コーナー

- 認定された名所のパネル展示紹介
- リュウキュウマツの積み木であそぼう

### 地産地消・食育関係団体コーナー

- 「おきなわ食材の店」紹介
- 学校給食に関する紹介 他 (沖縄県学校栄養士会等)

### まちと村の交流体験バスツアー

- 那覇空港西側特設駐車場を発着場とし、  
体験バスツアーを実施 (※予約申込となり)
- 北部:2コース 中部:2コース 南部:2コース
- 農協観光 TEL:098-831-5325

### 農大・農林高コーナー

- 沖縄県立農業大学校、農林高校の学業紹介  
及び生産した農産物、加工品等の販売

### 市町村コーナー

- ご当地食材(青果、加工品)や自慢の料理、  
民芸、芸能、食育に関する昔ながらの生活  
の知恵の実演等のイベントをとおして、  
市町村を紹介します。

### 地産地消グルメフェア

- 地元食材を使用した気軽に食べられる  
ファーストフードグルメ



食べる

見る・関心

体験する

買う

# おきなわ花と食の フェスティバル

## 2014

### 2/1(土)・2(日)

【開催時間】午前10時～午後6時

### 会場 奥武山公園

沖縄県立武道館・セルラースタジアム周辺・駐車場

地産地消  
ちさんちしょう

ていだいサンサン  
食くらがたじやう  
沖縄産!



主 催：おきなわ花と食のフェスティバル推進本部

共 催：沖縄県農林水産物販売促進協議会、沖縄県地産地消推進県民会議

後 援：内閣府沖縄総合事務局、那覇市、沖縄県市町村、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄タイムス社、琉球新報社、琉球放送株式会社、沖縄テレビ放送株式会社、NHK沖縄放送局、琉球朝日放送株式会社、株式会社ラジオ沖縄、株式会社エフエム沖縄、全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部、沖縄都市モノレール株式会社、沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合(順不同)

### 会場・臨時駐車場の御案内

#### シャトルバス 運行の御案内

運行時間：午前9時～午後7時

臨時駐車場 → 降り場 → 乗り場

所要時間 15～20分

※道路の混雑状況や信号待ちなどにより所要時間は多少異なります。



### 手ぶらで行って 手ぶらで帰る!



行き帰りがラクラク♪  
便利な宅配サービスを  
ご利用下さい。

※お問い合わせはフェスティバル会場内  
広報コーナーまで



## 沖縄県土地改良事業団体連合会

- 本 所 〒901-1112 南風原町字本部453番地3 TEL 098-888-4511 FAX 098-835-6070
- 宮古支所 〒906-0012 宮古島市平良字西里1440-1 TEL 0980-72-8697 FAX 0980-74-2111
- 八重山支所 〒907-0004 石垣市字登野城1263-1 TEL 0980-82-6070 FAX 0980-84-1089